

プログラム

【パフォーマンス】「竹おどり・大阪初上陸！！」竹之下亮

[1] 14:00～14:15

ケアは、目の前にいる人の状態を細やかに感じとり、応えていく営みです。ダンスもまた、観客の反応を感じながら踊ることで、その場をつくりあげていく試みでしょう。そのとき私たちは、言葉をこえ、身体を通じたやりとりをしているのではないのでしょうか。フォーラムのはじまりにあたり、このことを感じる時間を持ちたいと思います。

竹之下亮：ダンサー / 振付家。能楽を学びながら身体の面白さに目覚め、ダンスを始める。高齢者施設で介護職員としての勤務を経て、現在は公演や作品制作に専念している。劇場以外でも踊り、場所の特性を活かしユーモアを交えて踊ることが持ち味。

【実践報告+ディスカッション】

日常生活で、ケアの現場で、私たちは日々、人と出会い、関わり、生きていくことが求められます。暮らしのなかで「その人」を物語るの、言葉だけではありません。「ふるまい」には、その人自身の生き方が現れています。コミュニケーションのあり方が問われている現在、医療や介護の現場で様々な実践を行っている方々の話を伺い、いまいちど、人と人との関わりにおいてふるまいが持つ意味について話しあいます。

【実践報告1】「笑い」と病と生と

—クリニックラウン（臨床道化師）の活動」塚原成幸

[3] 15:20～15:35

「すべてのこどもに、こども時間を届ける」ことを目的とし、病院に笑いを運び込むクリニックラウン。病とともに生きるこどもたちに対し、臨床道化師たちはどのようにふるまい、関わっていくのでしょうか。医療現場に生き生きとした時間をつくりだす実践について伺います。

塚原成幸：NPO法人日本クリニックラウン協会事務局長兼アーティストディレクター。全国各地で約20年道化師として公演を行う。道化的発想と行動が現代社会における「豊かなコミュニケーションの構築」につながるという思いから、医療、福祉分野においても活動を展開している。

【実践報告3】「身体でもって、からだに関わる

—高齢者施設でのダンスワークショップ」佐久間新

[5] 15:50～16:05

ケアの現場において、人は言葉以上に、身体でもって、からだに関わることが求められます。そこに難しさを感じたとき、様々な身体表現に触れ、経験することは新たな視点を得るヒントとなるのではないのでしょうか。特別養護老人ホームで職員やお年寄りを対象に行ったダンスワークショップについて伺います。

佐久間新：ジャズ舞踊家。伝統舞踊におけるからだのありようを探求する中から、ダンスの可能性を問い直している。まわりの環境とコミュニケーションする即興グループPicnicや大阪ピクニック（船場アートカフェ）、日常にダンスを発見する「からだトーク」（大阪大学CSCD）などを展開中。

【講演】「言語から身振りへ」野村雅一

[2] 14:20～15:10

現代社会において、私たちはE-mailやブログなどといった言語を介したコミュニケーションのなかに他者とのつながりを見出すことが多くなっています。しかし、人が気持ちを伝えあうとき、頼るべきものは言葉だけしかないのでしょうか。人間にとっての身振りやしぐさの意味に目をむけ、コミュニケーションのありかたについて考えます。

野村雅一：総合研究大学院大学副学長、国立民族学博物館名誉教授。京都大学人文科学研究科助手、国立民族学博物館教授、京都外国語大学教授等を経て現職。文化人類学専攻。とくに、身ぶりやしぐさを含む人間のコミュニケーションを、世界的な広がりでも研究。

【実践報告2】「ふるまいが居場所をうみだす

—常設型地域の茶の間『うちの実家』」河田珪子

[4] 15:35～15:50

そこを訪れる人をあたたかく無条件で迎える、常設型地域の茶の間「うちの実家」。人と人が自然に関わりあい、存在しあう場においては、互いのふるまいを読み取り、応えることが重要なのではないのでしょうか。多様な人を柔らかく受け止める場をうみだす試みについて伺います。

河田珪子：常設型地域の茶の間「うちの実家」代表。介護退職者の立場から、介護する側もされる側も自分の人生を大切にできるシステムをつくりたい、と呼びかけ、会員制有償の助け合い「まごころヘルプ」や「地域の茶の間」を開始、運営している。

【ディスカッション】「ふるまいを読み解く

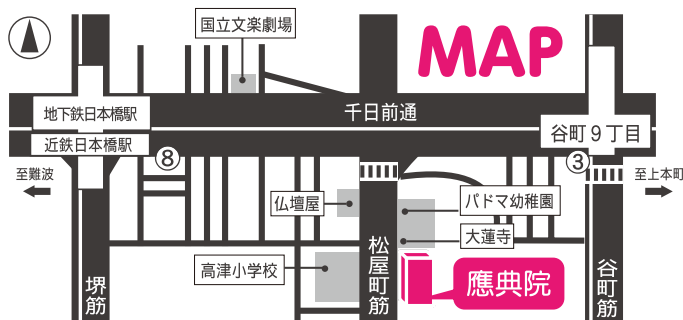
—ケアの現場のコミュニケーション」

[6] 16:10～17:00

塚原成幸 × 河田珪子 × 佐久間新 × 竹之下亮 進行：志賀玲子

交流会 [7] 17:00～

会場：2階ホール横「気づきの広場」



- 地下鉄谷町線「谷町9丁目駅」③番出口より西へ8分
- 地下鉄堺筋線・近鉄「日本橋駅」⑧番出口より東へ9分

申込方法

①参加者名、②所属またはご職業、③連絡先（電話番号またはE-mailアドレス）、④交流会へのご参加の有無を、下記申し込み先までご連絡ください。申込みのご連絡をいただいた時点で受付となります。

*定員オーバーなどの諸事情によりご参加いただけない場合に限り、事務局からご連絡いたします。
*参加費および交流会費は当日会場でも申し込みます。

○お申込み／お問合せ先

財団法人たんぽぽの家

〒630-8044 奈良県奈良市六条西 3-25-4

TEL: 0742-43-7055, FAX: 0742-49-5501

Mail: carecare@popo.or.jp

*Eメールでお申し込みの際は、件名に必ず「言語から身振りへフォーラム参加申込」と明記してください。